

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	赤嶺 達也、他	科目必修区分	必修
授業概要	各種行事の企画や運営を通して主体性を育み、コミュニケーション力を高める。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【入学オリエンテーション】 目標設定、手引きの読み合わせ、講話、リレーションシップなど			25
	2	【性教育】 助産師の方を招いての講話			2
	3	【卒業研究発表会・展示会】 卒業生が制作した研究発表会に参加し、展示会でシステムに触れてみる。			3
	4	【卒業生送別会】 学科ごとの卒業生に感謝の気持ちを込めて、内外でイベントを実施する			5
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	合計時間数				35
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	情報処理演習	担当者	赤嶺 達也、他	科目必修区分	必修
授業概要	情報処理技術者試験の各区分の試験対策として問題演習および解説を行う。				
到達目標	・情報処理技術者試験に合格				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	次年度4月(春期対策)試験①			6
	2	次年度4月(春期対策)試験解説			13
	3	次年度4月(春期対策)試験②			6
	4	次年度4月(春期対策)試験解説			13
	5	次年度4月(春期対策)試験③			6
	6	次年度4月(春期対策)試験解説			13
	7	次年度4月(春期対策)試験④			6
	8	次年度4月(春期対策)試験解説			12
	9	次年度4月(春期対策)まとめ			10
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				85
教科書	過去問題、模擬試験(ウイネット・TAC・アイテック)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、検定試験得点40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	コンピュータ概論	担当者	渡具知・知花・大城(政)	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【コンピュータ概論:1章】コンピュータの基礎知識			8
	2	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)			14
	3	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)			8
	4	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)			14
	5	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)			8
	6	【6章】マルチメディア			8
	7	【7章】AI(人工知能)			8
	8	【8章】アルゴリズムとデータ構造			8
	9	【マネジメントと情報化:1章】システム開発とは(開発の流れ、要件定義など)			8
	10	【2章】サービスマネジメントとシステム戦略(サービスマネジメント、システム監査など)			23
	11	【3章】企業と経営戦略(企業活動、経営戦略手法、マーケティングなど)			8
	12	【4章】OR・IE(応用数学)			8
	13	【5章】企業会計			18
	14	【6章】法務と標準化(知的財産権、セキュリティ関連法規など)			10
	15	【システム開発技術:1章】データベース(データのモデル化、設計など)			10
	16	【2章】ネットワーク(ネットワーク方式、OSI基本参照モデルなど)			8
	17	【3章】情報セキュリティ(情報セキュリティ、暗号化技術など)			8
	18	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)			18
	19	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			18
	20	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)			23
	合計時間数				236
教科書	コンピュータ概論(ウィネット) マネジメントと情報化(ウィネット) システム開発技術(ウィネット) 情報処理検定問題集(3級・2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業出席20pt、単元テスト20pt、期末テスト30pt、検定試験得点30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	通年	
授業科目	プログラム設計	担当者	赤嶺 達也、他	科目必修区分	必修	
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・擬似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作の処理が理解できる。 					
授業計画	内 容				授業時間数	
	1	第1章 アルゴリズム入門	アルゴリズムとは	データ型	1	
	2		領域の概念	三つの基本構造 練習問題	1	
	3	第2章 流れ図の基本パターン	流れ図(フローチャート)	連続型	3	
	4		選択型	反復型 練習問題	6	
	5	第4章(フローチャートのみ)	計算のアルゴリズム	合計平均	4	
	6		べき乗計算	最大最小抽出 練習問題	2	
	7	第5章 配列操作(フローチャートのみ)	配列	1次元配列の操作	4	
	8		1次元配列挿入、削除	2次元配列 練習問題	4	
	9	第3章 擬似言語の基本パターン	擬似言語とは	擬似言語の表記法	3	
	10		擬似言語の宣言部分、処理部分	練習問題	3	
	11	第4章(擬似言語のみ)	計算のアルゴリズム	合計平均	4	
	12		べき乗計算	最大最小抽出 練習問題	4	
	13	第5章 配列操作(擬似言語のみ)	配列	1次元配列の操作	3	
	14		1次元配列挿入、削除	2次元配列 練習問題	3	
	15	練習問題	サーティファイ2級1部レベル問題使用		5	
	16	期末テスト(前期)				2
	17	第6章 探索のアルゴリズム	探索処理とは	線形探索法	7	
	18		2分探索法	ハッシュ表探索法 練習問題	7	
	19	第7章 整列のアルゴリズム	整列とは	基本選択法 基本交換法 基本挿入法	5	
	20		整列法の比較回数	シェルソート 再帰処理 クイックソート マージソート 練習問題	5	
	21	第8章 データ構造	構造型	リスト構造 スタックとキュー 木構造 練習問題	5	
	22	第9章 実践アルゴリズム	基数変換	経路選択 ファイル処理 文字列探索	6	
	23	練習問題	サーティファイ2級2部レベル問題使用		5	
	24	期末テスト(後期)				2
	合計時間数				94	
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造(ウイネット)					
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度					
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト30pt、期末テスト30pt、検定試験得点20pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家	備考				
実務経験紹介	IT業界(システムエンジニア歴含む)7年					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナー I	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	社会に出る前準備として、必要となるマナー(ビジネスマナー)を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶がしっかりできる。 ・立場の違いを考えた言葉遣いができる ・基本的な立ち居振る舞い、ビジネス電話の基本を身につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的など)			1
	2	ビジネスマナーの重要性			2
	3	社会人と学生の違い			2
	4	基本動作(立つ、お辞儀・挨拶、座り方、表情)			2
	5	電話対応(内線電話を受ける/取り次ぐ)			2
	6	訪問のマナー(教務室への入退室/受付での対応)			2
	7	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)			2
	8	報告・連絡・相談			1
	9	話の仕方・話の聞き方			1
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				15
教科書	実践ビジネスマナー(ウイネット)				
時間外学習	課題の取り組み				
成績評価方法	ロールプレイング(20pt) 課題提出状況(20pt) 課題内容(20pt)				
	授業態度(20pt) 評価テスト(20pt)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学 I	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力及び発揮できる力(人間力)であることを知り、永久戦力を目指すうえでの自己のあり方を考察する。				
到達目標	KBC学園の教育理念に掲げられた『人財』を目指し、人間性を磨き各自の『志』をたてるために『学生クレド』について理解を深め実行できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	序章:学習のねらいと目標			2
	2	第1章:感謝			2
	3	第2章:感動			2
	4	第3章:思いやり・気くばり			2
	5	第4章:明朗			2
	6	第5章:挨拶			2
	7	第6章:素直			2
	8	第7章:プラス思考			2
	9	第8章:チャレンジ精神			2
	10	第9章:永久戦力			2
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				20
教科書	志学 I・II (KBC学園オリジナルテキスト)				
時間外学習	クレドに基づいた行動を意識し、自らの行動を振り返る				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義、実習	講義時期	通年
授業科目	プログラミング I (C言語)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	C言語のプログラミング技術について、基本的な文法から、アルゴリズムや構造化プログラミングを学習する。 講義ではC言語の基本的な知識を習得し、文法と特徴的な記述方法を学びます。実習では練習問題を通してプログラミングスキルを身につけることを目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・サーティファイ主催C言語プログラミング能力認定試験3級、2級が取得できる。 ・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)			2
	2	C言語プログラミングの初歩(プログラムの書き方、実行方法)			2
	3	標準出力、文字と数値			4
	4	変数と型(識別子、変数の宣言)、標準入力			4
	5	式と演算子(演算子の種類、演算子の優先順位、型変換)			4
	6	中間試験			4
	7	条件分岐(関係演算子、if文、switch文、論理演算子、演習)			8
	8	繰り返し(for文、while文、do-while文、文のネスト、処理の流れの変更、演習)			10
	9	配列(配列の基本、マクロ、文字列と配列、多次元配列、演習)			10
	10	総合演習(基本文法を用いたプログラム作成、データの並べ替え)			10
	11	関数(関数の定義、プロトタイプ宣言、グローバル変数・ローカル変数、演習)			8
	12	前期 期末試験			4
	13	検定対策(C言語検定3級対策、模擬試験の実施、解説)			20
	14	ポインタ(アドレス、ポインタの基本、関数に引き渡す方法)			6
	15	配列とポインタの応用1(配列のアドレス、ポインタ演算、引数と配列、演習)			8
	16	配列とポインタの応用2(文字列とポインタ、動的メモリ確保、簡易演習)			8
	17	中間試験			4
	18	構造体(構造体の記述、構造体の応用)			2
	19	ファイル入出力(ストリーム、ファイルのオープンクローズ、ファイルからの入力・出力)			6
	20	総合演習(ファイルの入出力、探索アルゴリズムを使ったプログラム作成)			16
	21	後期 期末試験			4
	22	検定対策(C言語検定2級対策、模擬試験の実施、解説)			20
	23				
	24				
	合計時間数				164
教科書	やさしいC 第5版 (SBクリエイティブ(株)) C言語プログラミング能力認定試験3級過去問題集 C言語プログラミング能力認定試験2級過去問題集				
時間外学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト30pt、期末テスト30pt、検定試験得点20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
実務経験紹介	IT業界 (システムエンジニア歴 含む) 7年				

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー実習	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	ビジネスにおいて必要不可欠なIT知識・パソコン操作を網羅し、実務に直結した知識・技術を習得する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームポジションでのタイピングができる ・効率的なパソコン操作ができる(ショートカットキーの使用やデータ整理を含む) ・Officeソフト(Excel・Word・PowerPoint)の基本操作ができる 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的など)			1
	2	第1章 いまさら聞けないWindowsの基礎			4
	3	第2章 インターネットとメール			8
	4	第3章 レポートをまとめる(Word) ※課題演習含む			20
	5	第4章 データを整理する(Excel) ※課題演習含む			20
	6	第5章 スライド資料を作る(PowerPoint) ※課題演習含む			20
	7	第6章 情報の検索と資収集、整理 ※課題演習含む			3
	8	タイピング練習			12
	9	パソコンの整理(不要なデータの削除など)			2
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				90
教科書	学生のためのアカデミック情報リテラシー Office2016対応 noa出版				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題・演習問題				
成績評価方法	課題提出状況20pt 課題完成度20pt レポート20pt 入力スピード20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	後期
授業科目	WEB開発実習(HTML)	担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	Webサイトを作成する際に必修スキルであるHTML5・CSS3の基礎的な知識と技術を学習し、簡単なWebサイトを作成する。				
到達目標	Webのしくみを理解し、HTML5をマークアップすることができる。 また、CSSを用いてHTMLの構造を維持しつつ、Webページのデザインやレイアウトを表現することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【Webサイト作成の事前準備】			2
	2	【HTMLの基本】			6
	3	【CSSの基本】			6
	4	【Webサイトの作成】			6
	5	【レスポンス対応】			6
	6	【Webサイトの集客】			4
	7	【Webサイトの公開】			4
	8	【Webクリエイター能力認定試験 スタンダード受験に向けて】			28
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				62
教科書	HTML&CSSの教科書、Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出20pt、出席率20pt、検定取得状況40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名： 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	就職実務	担当者	佐久本 世津、他	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方や選考試験向けの準備について学習・演習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自己分析や企業研究など自発的に取り組むことができる 基本的な就職活動の流れとポイントを押さえて動くことができる 選考試験に向けての必要最低限の準備ができる(履歴書、面接準備) 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	導入(授業スケジュール・内容・目的、センスアップセミナーの説明など)			1
	2	履歴書作成			1
	3	自己分析(必要性の理解と実践)			4
	4	<センスアップセミナーに向けての準備>			
	5	自己PR文の作成			2
	6	その他質疑集作成			3
	7	面接や受付での立ち振る舞い			6
	8	<就職活動に向けての準備>			
	9	面接試験実践(本質の理解)			2
	10	適性試験の種類と勉強法(冬休み前までに実施)			1
	11	作文試験のポイント(冬休み前までに実施)			1
	12	社会人になるための心の準備			1
	13	グループディスカッションの進め方と役割、実践			6
	14	オンライン面接のポイント			1
	15	ビジネスメールの書き方			1
	16	<就職活動実践>			
	17	求人票の見方とポイント			2
	18	求職票の記入、学校求人への申込方法、報告書の提出、証明書類の発行			2
	19	企業情報のまとめ方			2
	20	志望動機の作り方			2
	21	選考試験を準備および注意点(書類の準備、電話のかけ方、辞退について)			1
	22	<イベント>			
	23	センスアップセミナー			5
	24	就活キックオフ			5
	25	業界研究セミナー			3
	26	kbc主催合同企業説明会への参加			6
	27	インターンシップへの参加(任意)			
	合計時間数				58
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習	履歴書作成、面接質疑集作成、面接練習、適性検査の勉強				
成績評価方法	履歴書完成度(25%)、提出物提出状況(25%)、面接テスト(25%)、レポート(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	演習、講義	講義時期	通年
授業科目	総合学習	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	各種行事の企画や運営を通して主体性を育み、コミュニケーション力を高める。				
到達目標	学生クレド(感謝、感動、思いやり・気配り、明朗、挨拶、素直、プラス思考、チャレンジ精神、永久戦力)に基づいて行動することが出来る。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【オリエンテーション】 目標設定、講話、リレーションシップなど			10
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				10
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	各授業・行事における事前準備や調べ学習を指示。前後の各実施委員会活動				
成績評価方法	授業態度30pt、毎回の授業レポート70pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
	実務経験紹介				

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(クラウド)	担当者	久保玉井 純	科目必修区分	必修
授業概要	パブリッククラウドを利用し構築技術を体系的に学習することで、クラウドエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。また、dockerによるサーバ構築技術を学習することでコンテナ型仮想環境サービスを学習する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> パブリッククラウドの概要説明が出来るようになる。 パブリッククラウドを用いて簡単なWebサービスのインフラ構築ができる。 コンテナ技術を用いてアプリケーションコンテナの構築や公開ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	基礎座学:クラウドの優位性や特徴、パブリッククラウドのシェア状況			3
	3	アカウント開設作業(AWS Educate StarterAccount)			1
	4	【AWS基礎】01:仮想サーバの構築(EC2)、基礎座学内容の確認			10
	5	【AWS基礎】02:ネットワークインフラ構築、セキュリティ設定(VPC)			3
	6	【AWS基礎】03:アカウント管理(認証・認可)(IAM)			2
	7	【AWS基礎】04:マネージドデータベース構築、利用(RDS,DynamoDB)			10
	8	【AWS基礎】05:ストレージサービス構築、利用(S3,EFS)			10
	9	【AWS基礎】06:ネットワークサービス利用(CloudFront,Route53等)			10
	10	【AWS基礎】07:スケーリング(AutoScaling、CloudWatch)			5
	11	【AWS基礎】08:基礎講座の振り返り実習(成果物の提出)			20
	12	夏休み			
	13	【応用技術】01:コンテナ技術基礎習得			10
	14	【応用技術】02:サーバレス入門			20
	15	オリエンテーション:チーム学習のスタート(目標決め)			5
	16	【チーム学習】01:各チームでの活動(制作作業やイベント参加など)			50
	17	【チーム学習】02:制作物発表(成果物の提出)			10
	18	まとめ			5
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(レゴロボ)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	C言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通して、C言語を習得しハードウェアのプログラミングを理解する。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・C言語でプログラムを書けるようになる ・EV3(レゴロボ)を設計したソフトウェア通りに動かせるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを見につける 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(入出力、選択、反復、関数、配列、ポインタ)			30
	3	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			10
	4	EV3 プログラミング(Scratch)			15
	5	EV3 プログラミング(C言語)			60
	6	コース走行			40
	7	UML			15
	合計時間数				175
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外 学習					
成績評価 方法	授業態度30pt、課題提出40pt、評価試験30pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(セキュリティ)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	Webアプリケーションの脆弱性を理解し、セキュリティに配慮した設計・開発ができるWebアプリケーション開発エンジニアの育成を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模なWebアプリケーション開発を行うことができる。 ・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することができる。 ・ツールを用いて脆弱性を検出し、発見した脆弱性に対して対策を行うことができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			2
	2	開発演習環境構築			3
	3	HTML/CSS基礎			10
	4	PHP基礎			40
	5	オリジナルWebアプリケーション制作			25
	6	プレゼンテーション			10
	7	Webアプリケーションの脆弱性について			20
	8	脆弱性診断ツール演習			10
	9	Webアプリケーションの脆弱性対策			25
	10	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断			10
	11	オリジナルWebアプリケーションの脆弱性診断結果に対する修正			5
	12	プレゼンテーション			15
	合計時間数			175	
教科書	自作教材				
時間外学習	Web学習教材(Ping-t)				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(ネットワーク)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	ネットワーク機器を利用し構築技術を体系的に学習することで、ネットワークエンジニアとしての知識・技術を学習するコース。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク技術の概要説明が出来る様になる。 ・中・小規模のネットワーク構築が出来る。 ・ネットワーク構築際のトラブルシューティングが出来る。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:講座内容の説明やシラバス説明			1
	2	実習環境構築			2
	3	ネットワークの基礎			10
	4	LANスイッチングの基礎			10
	5	スイッチ設定実習			30
	6	ルーティングの基礎			10
	7	ルーター設定実習			30
	8	ネットワーク構築実習			82
	合計時間数				175
教科書	自作教材				
時間外学習	シミュレーションソフトによる自己学習				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出40pt、成果物40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(学びなおし)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学で目標を達成する				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各自で設定した目標を達成するための手段およびスケジュールリングの習得 ・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングの習得 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			1
	3	目標を進める			85
	4	進捗率の確認			2
	5	目標を進める			84
	6	進捗率の確認			2
	合計時間数				175
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度50pt、課題達成率50pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	選択科目実習(国家試験取得)	担当者	福士 とよみ、他	科目必修区分	必修
授業概要	基本情報技術者試験の出題範囲の演習を元に、各分野の専門知識・技術を身につける。				
到達目標	基本情報技術者試験に合格する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	午前問題の計算問題 とセキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	2	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	3	午前問題の計算問題 とセキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	4	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	5	午前問題の計算問題 とセキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	6	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	7	午前問題の計算問題 とセキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	8	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	9	午前問題の計算問題 とセキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	10	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	11	午前問題の計算問題 とセキュリティ分野 説明・演習問題・解説			7
	12	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	13	前期 評価試験			6
	14	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	15	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	16	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	17	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	18	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	19	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	20	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	21	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	22	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	23	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	24	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	25	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	26	セキュリティ分野 説明・演習問題・解説			2
	27	疑似言語 と Java言語 説明・問題演習・解説			8
	28	後期 評価試験			6
	29	まとめ・予備			3
	30				
	合計時間数				175
教科書	過去問題・オリジナル問題・模擬試験(市販のもの)				
時間外学習	試験学習サイトの活用				
成績評価方法	授業態度20pt、前期評価試験40pt、後期評価試験40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅱ(Java)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Javaプログラマ Bronze試験に向けて演習を含めた学習を行う。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Java言語の基本文法について説明ができる。 ・オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 ・「抽象クラス」「インターフェース」などJavaの機能について説明ができる。 				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第7章 オブジェクト指向			4
	2	第8章 インスタンスとクラス			4
	3	第10章 継承			8
	4	第11章 高度な継承			8
	5	第12章 多態性			8
	6	第13章 カプセル化			6
	7	第14章 Javaを支えるクラスたち			6
	8	第15章 文字列と日付の扱い			6
	9	第17章 例外			6
	10	第18章 まだまだ広がるJavaの世界			6
	11	Bronze対策(Javaの基本文法)			14
	12	Bronze対策(メソッド、クラス、抽象クラス、インターフェース)			14
	13	Bronze対策(模擬試験と解説)			18
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				108
教科書	スッキリわかるJava入門、徹底攻略Java SE Bronze 問題集				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供				
成績評価方法	授業態度(20点) 評価試験(40点) 期末試験(40点)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介	社内SE (プログラマ歴 含む) 7年			

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・演習・実習	講義時期	前期
授業科目	WEB開発実習(HTML)	担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	Webサイトを作成する際に必修スキルであるHTML5・CSS3の基礎的な知識と技術を学習し、簡単なWebサイトを作成する。				
到達目標	Webのしくみを理解し、HTML5をマークアップすることができる。 また、CSSを用いてHTMLの構造を維持しつつ、Webページのデザインやレイアウトを表現することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【Webサイト作成の事前準備】			2
	2	【HTMLの基本】			6
	3	【CSSの基本】			6
	4	【Webサイトの作成】			6
	5	【レスポンス対応】			6
	6	【Webサイトの集客】			4
	7	【Webサイトの公開】			4
	8	【Webクリエイター能力認定試験 スタンドアード受験に向けて】			27
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				61
教科書	HTML&CSSの教科書、Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集				
時間外学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出20pt、出席率20pt、検定取得状況40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義	講義時期	通年
授業科目	セキュリティ入門(Security+)	担当者	城間 大地	科目必修区分	必修
授業概要	情報処理技術者の主要な要素技術である情報セキュリティについて、暗号化、認証などの基本的な技術に加え、ネットワークセキュリティやホストセキュリティなど、幅広い内容を理解する。また、どのような状況においてはどのように対処すべきかといった、マネジメントについても学習する。				
到達目標	1. 情報処理の主要な要素技術の1つ「情報セキュリティ」についての説明ができる 2. ComTIA Securiy+ の試験に合格し、資格を取得することができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入(授業目的・カリキュラム説明・取得目標検定説明)			0.5
	2	1章 セキュリティの基礎			3.5
	3	2章 暗号化			12
	4	2章 暗号化実習(秘密鍵と公開鍵)			1
	5	3章 認証			7
	6	3章 認証実習(パスワード解析:John The Ripper)			1
	7	4章 ネットワークセキュリティ			10
	8	5章 脅威と対策			18
	9	5章 脅威と対策実習(Webシステム驚異の検証:EasyBuggy、スニフアー実習)			2
	10	6章 ホストセキュリティ			12
	11	6章 ホストセキュリティ実習(脆弱性分析、ポートスキャンやセキュリティスキャナ)			1
	12	7章 セキュリティマネジメント			13
	13	資格試験対策 章ごとの復習演習問題・			25
	14	シミュレーション問題の説明・試験受験・予備			10
	15	まとめ(授業内容についてのまとめ)			1
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	合計時間数				117
教科書	ComTIA Securiy+ テキスト 実務に役立つ情報セキュリティの基礎(TAC株式会社)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題・資格試験受験に向けた勉強				
	補助教材:CompTIA Labs for Security+(試験番号:SY0-501) Individual License「日本語版」				
成績評価方法	授業態度20pt、単元テスト40pt、資格試験40pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	実務家	備考			
	実務経験紹介	社内SE (プログラマ歴 含む) 7年			

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (LinuC101)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	サーバ環境で用いられるUnixOSにおいて、市場で利用頻度が高いLinuxを講義および演習を通して理解する。Linux実習環境を通じて、コマンドをはじめ Linux の基本構成を学習する。LinuCレベル1;101試験に向けた基礎知識が理解でき、取得を目指す。				
到達目標	1. Linuxの環境の設定・変更・削除など管理ができる 2. Linuxコマンドを理解し、操作できる 3. LinuC/LPIC 101試験範囲の基礎知識が理解できる 4. 自ら学習計画を立て、認定試験合格を目指す				
授業計画	総授業時間数 93時間 授業回数 49回 1回授業 50分				授業時間数
	1	オリエンテーション:LinuCレベル1:102 の試験概要、環境設定の確認			2
	2	第7章:シェルとシェルスクリプト(講義と実践)			4
	3	第8章:ネットワークの基礎(講義と実践)			4
	4	第9章:システム管理(講義と実践)			4
	5	第10章:必須システムサービス(講義と実践)			4
	6	第11章:セキュリティ(講義と実践)			6
	7	第12章:オープンソースの文化(講義と実践)			4
	8	Web演習「Ping-t」:500問 実施と解説			15
	9	模擬試験:第1回～第3回 実施と解説			6
	10	問題演習:スピードマスター問題演習			14
	11	本試験:実施			4
	12				
	13				
	14				
	15				
	合計時間数				67
教科書	<ul style="list-style-type: none"> Linux教科書 LinuCレベル1 Version10.0対応 (対応科目:101,102試験対応) Linux教科書 LinuCレベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 (101,102試験対応) 				
時間外学習	オンライン学習「Ping-t」を活用し、実習課題や演習問題、資格試験受験に向けた模擬試験				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト10pt、期末テスト20pt、本試験結果20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	就職実務	担当者	佐久本 世津	科目必修区分	必修
授業概要	企業から内定を獲得するために、履歴書のブラッシュアップ、自己PRや志望動機などの内容強化、面接練習を行う。 社会人になる前にやっておくべきことを認識し、実際に行動に移せるようにする。				
到達目標	1. 企業内定を獲得する 2. 社会人になるまでにやっておくべきことを理解し、行動に移すことができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の目的などの説明(履修に対する動機づけ)			1
	2	未内定者 ・履歴書のブラッシュアップと作成 ・自己PRの内容強化 ・志望動機の内容確認 ・面接の練習 ・就職試験受験後の反省と改善 内定者 ・社会人になるまでにやっておくべきことの確認 (外部イベントへの参加、新聞などでの情報収集、読書など) ・内定職種に必要な資格取得のための計画の立案と実施			15
	3				
	4				
	5				
	合計時間数				16
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、面接練習)				
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)				
成績評価 方法	履歴書完成度20pt 面接テスト20pt レポート20pt 報告書提出20pt 授業態度20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	データベース入門 I (OSS-DB)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	PostgreSQLデータベースを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSアクセスするための標準言語であるSQL言語の書き方を学ぶ。基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を学習する。PostgreSQLを使った実習を通じて、実践的な学習を行う。				
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	科目の導入			1
	2	オープンソースデータベース標準教科書 5 SQL によるデータベースの操作応用編			5
	3	6 データベース定義の応用			2
	4	7 マルチユーザーでの利用 8 パフォーマンスチューニング 9 バックアップとリストア			7
	5	OSS教科書 OSS-DB Silver 1章 オープンソースデータベースの一般的特徴 一般的特徴、ライセンス、コミュニティと情報収集			2
	6	2章 データベースの基礎知識 データベースマネジメントシステム、データモデル、データベース設計			4
	7	正規化			1
	8	3章 インストール PostgreSQLのインストール、データベースクラスタ、データベース			3
	9	4章 標準付属ツール pg_ctl、psql			8
	10	5章 設定ファイル 接続と認証、クライアント接続デフォルト、エラー報告とログ取得、SET文/SHOW文の使い方			8
	11	6章 バックアップとリストア バックアップ・リストアコマンド、PITR			8
	12	7章 基本的な運用管理 ユーザー管理、VACUUM、情報スキーマ、権限			8
	13	8章 SQLとオブジェクト テーブルの定義、パーティション、シーケンス、ビュー、インデックス、関数とプロシージャ、テーブルスペース、マテリアライズドビュー			9
	14	9章 組み込み関数と演算子			2
	15	10章 トランザクション 制御コマンド、トランザクション分離性、ロック			10
	16	検定試験対策(模擬試験、問題集)			24
	17	検定試験受験			2
	合計時間数				104
教科書	オープンソースデータベース標準教科書 -PostgreSQL-(Ver 2.0.0) (LPI-Japan) OSS教科書 OSS-DB Silver(翔泳社) 徹底攻略 OSS-DB Silver 問題集(インプレスジャパン) 最強WEB問題集OSS-DB Silver(株式会社Ping-t)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題 WEB問題集による自己学習				
成績評価方法	出席20%、課題30%、確認テスト30%、検定試験20%				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅱ	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	やりがいを持てる社会人生活を送る為に社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、各ロールモデルの中から自身の「志」を具体化させていく事を目指します。				
到達目標	志高く生きた人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章			2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは			2
	3	志学Ⅱ 第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ			6
	4	志学Ⅱ 第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く			2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(思考力)を磨く			6
	6	志学Ⅱ 第5章 私の「志」			2
	7				
	8				
	9				
	10				
		合計時間数			
教科書	志学 I・II (KBC学園オリジナルテキスト)				
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)				
成績評価方法	授業態度30pt、授業レポート及び課題70pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義、実習	講義時期	通年
授業科目	システム構築技術Ⅱ(LinuC102)	担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	サーバ環境で用いられるUnixOSにおいて、市場で利用頻度が高いLinuxを講義および演習を通して理解する。Linux実習環境を通じて、コマンドをはじめ Linux の基本構成を学習する。 LinuCレベル1;102試験に向けた基礎知識が理解でき、取得を目指す。				
到達目標	1. Linuxの環境の設定・変更・削除など管理ができる 2. Linuxコマンドを理解し、操作できる 3. LinuCレベル1 102試験範囲の基礎知識が理解できる 4. 自ら学習計画を立て、認定試験合格を目指す				
授業計画	内容				授業時間数
	1	オリエンテーション:LinuCレベル1:102 の試験概要、環境設定の確認			2
	2	第7章:シェルとシェルスクリプト(講義と実践)			8
	3	第8章:ネットワークの基礎(講義と実践)			8
	4	第9章:システム管理(講義と実践)			8
	5	第10章:必須システムサービス(講義と実践)			8
	6	第11章:セキュリティ(講義と実践)			8
	7	第12章:オープンソースの文化(講義と実践)			4
	8	模擬試験:第1回～第3回 実施と解説			5
	9	Web演習問題「Ping-t」:500問 実施と解説			20
	10	問題演習:スピードマスター問題演習			18
	11	本試験:実施			4
	12				
	13				
	14				
15					
	合計時間数				93
教科書	<ul style="list-style-type: none"> Linux教科書 LinuCレベル1 Version10.0対応 (対応科目:101,102試験対応) Linux教科書 LinuCレベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 (101,102試験対応) 				
時間外学習	オンライン学習Ping-Tを活用し、実習課題や演習問題、資格試験受験に向けた模擬試験				
成績評価 方法	授業態度20pt、単元テスト20pt、期末テスト20pt、本試験結果20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	システム開発実習(Java)	担当者	屋良 朝也	科目必修区分	必修
授業概要	システム開発について学ぶ上で、Webアプリケーションを例題として制作工程を体験することで、Webアプリケーション作成方法を学ぶ。				
到達目標	1. Webアプリケーションの仕組みを説明できる。 2. 簡単なWebアプリケーションの開発ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	授業概要と授業実施前の準備			1
	2	実習環境構築(Java, Eclipse, Tomcat)			5
	3	01_Tomcatとは、MariaDBとHeidiSQLインストール			5
	4	02_JDBC設定			2
	5	03_JDBC_InsertやUpdate、Delete、課題			3
	6	04_DAO			6
	7	05_DAO2、3種類のDAOパターンの演習			4
	8	06_JSPとサーブレット			2
	9	07_フォーム			2
	10	08_リクエスト・レスポンス			2
	11	09_MVCモデルの処理と遷移			2
	12	10_MVCモデルのスコープ			4
	13	11_MVCモデルのセッションスコープ			2
	14	12_MVCモデルのアプリケーションスコープ			2
	15	13_Webアプリの作成①			4
	16	14_Webアプリの作成②(曖昧検索)			4
	17	15_Webアプリの作成③(新規登録)			4
	18	16_Webアプリの作成④(編集機能)			4
	19	17_Webアプリの作成⑤(編集機能実装)			4
	20	18_評価について(商品管理のWebアプリの提出)			10
	21	19_ユーザー登録管理アプリケーションの作成			18
	合計時間数				90
教科書	自作プリント、スライド				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題の作成を行う				
成績評価方法	出席率(30%)、提出課題提出率(30%)、課題の得点平均(40%)				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 3 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(2年制)・2年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	社会人として必要不可欠なビジネスマナーや電話応対、ビジネスルールをロールプレイを通して実践的に学習する				
到達目標	・名刺の正しい扱い方が出来る(受け方、出し方、同時交換の仕方) ・スムーズな来客応対を身につける(エレベーターや応接室での案内の仕方、お茶の出し方) ・ビジネス電話の基本を踏まえ好感の持てる応対が出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	社会人としての心構え(身だしなみ、言葉遣い)			2
	2	名刺の取り扱い方			
	3	【演習】名刺の受け方、出し方			2
	4	【演習】同時交換			2
	5	来客応対(接遇とは)			
	6	【演習】案内の仕方(受付→エレベーター→応接室)			4
	7	【演習】お茶の出し方			2
	8	電話応対			
	9	【演習】受け方(在社、不在時の対応→伝言メモの作成)			2
	10	【演習】かけ方			2
		合計時間数			16
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円+税 ウイネット)				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					